

／ちきゅうのむこうがわ／



ニカラグア

República de
Nicaragua

で活躍する

『うみのこ』

UMINOKO

滋賀県の「うみのこ」が、地球の向こう側にある
ニカラグアのマナグア湖で活躍しています！



ニカラグアってどんな国？

どこにある？

中央アメリカ

ニカラグアは、日本から遠く離れた「中央アメリカ」にあります。
飛行機でも25時間くらいかかります。

どれ位の広さ？

北海道+九州くらい

面積は約13万平方キロメートルで、北海道と九州を足したくらいの
大きさです。

何人住んでいる？

約660万人

滋賀県の人口の約4.7倍の人が住んでいます。

首都はどこ？

マナグア

首都はマナグアで、約100万人が
住んでいます。町の隣には
「マナグア湖」という琵琶湖の
約1.6倍の大きさの湖があります。



提供：マナグア市

何語を話す？

スペイン語

歴史的な背景から、スペイン語が話されています。

あいさつをするときは『オラ! (¡Hola!)』と言い、ありがとうは
『グラシアス(Gracias)』と言います。

有名なものは？

コーヒー、お肉、火山

ニカラグアはコーヒーの生産が盛んです。他にもお肉が
有名で、安くておいしいお肉が食べられます。

日本と同じように火山が多くあり「モモンボ火山」は
富士山のようなきれいな形をしていて、地元の人たちに
愛されています。



何に困っている？

貧困、環境悪化

ニカラグアでは、いまだ多くの人たちが貧しい暮らしを
していて経済格差も大きいです。

首都のマナグアに人口が集中しているため、交通渋滞や
「マナグア湖」の汚染など環境悪化が問題となっ
ています。

JICA(ジャイカ)の支援

社会開発、環境保全

JICA(ジャイカ)は、日本の政府開発援助 (ODA) をひとまとめに行う
機関で、開発途上国への国際協力をしています。

ニカラグアでは、道路などの経済開発の基盤を整備したり、教育や
衛生環境の改善を手助けしています。マナグア湖で行う『ニカラグア
版「うみのこ」』のように、環境を守る取組みも支援しています。

マナグア湖 について



ニカラグアには「ニカラグア湖」と「マナグア湖」という2つの大きな湖があります。大きな方が「ニカラグア湖」、小さな方が「マナグア湖」で、現地では「ソロトラン湖」とも言います。

小さいといっても琵琶湖の1.6倍の大きさがあります。

マナグア湖は長い間、トイレの水や、工場や農地から出た汚い水が流れ込み、とても汚れていてニオイがひどく、ニカラグアの人たちでも近づきたくない、見たくもないと言われるような場所でした。

水の処理場ができたおかげで、ニオイは改善されましたが、湖の水をきれいにするには長い時間がかかりそうです。



マナグア湖のようす



湖岸には多くのゴミが打ち上げられている

ニカラグア版「うみのこ」ができるまで

すっかり汚れてしまっていたマナグア湖。

そんな状況を見ていたJICAニカラグアのスタッフたちは「この汚れた湖の水をキレイにして、泳いだり飲んだりできるようにならないだろうか?」と考え、行動を起こしました。

琵琶湖に注目した彼らは滋賀県の人たちから経験をまなび、さまざまな人たちと意見交換をした結果、2021年10月にニカラグアでも「うみのこ」を行うことになりました。

「うみのこ」の楽しさは滋賀からニカラグアにしっかりと伝わり、次の年からニカラグアの人たちが中心となり、ニカラグア版「うみのこ」を続けています。



ニカラグアの「うみのこ」はどんなことをしている?

ニカラグアには、滋賀県の「うみのこ」のような特別な船は無いので、観光用の船をつかって航海を行います。

2時間ほどの短い航海ですが、船に乗ること自体が初めての子どもたちは、乗っているだけでも楽しんでいるようです。

実験内容は、マナグア湖の水のようすを観察したり、顕微鏡をつかってプランクトンを見たりするなど、滋賀県の「うみのこ」と同じこともしています。また、専用の教科書をつかってマナグア湖のことや水のこと、ごみ分別の仕方など、幅広く学べるようになっています。



うみのこ専用の教科書。滋賀県の「うみのこ」にヒントをもらったことも書いてあります!



子どもたちがつから顕微鏡は、JICAが寄付しました!

絵画コンクールも開催しました!

2023年11月、これまでにニカラグア版「うみのこ」に参加した生徒を対象に絵画コンクールを開催しました!

JICAのほかに、ニカラグアの教育省やマナグア市、研究機関の方々が応募作品を審査し、水彩画と鉛筆画からそれぞれ3作品の合計6作品をえらびました!

また、特別賞として、マナグア湖のエコマスコットキャラクターを作っている日本人アーティストのFLOさんと滋賀県から公益財団法人滋賀県国際協会、滋賀県立彦根東高等学校の皆さんがそれぞれ作品をえらびました。



ニカラグアでの授賞式の様子

絵画コンクール
受賞作品

ニカラグアの子どもたちが描いた絵をご紹介します

「私たちのマナグア湖」

¿Qué significa el Lago Xolotlán para mí ?



水彩画部門

金賞



ヤオスカ・マルティネスさん
Jahosca Martinez Mayorga

銀賞



ブリタニー・マジョルガさん
Britany Mayorga Mayorga

銅賞



アンソニー・アルトーラさん
Anthony Mauricio Artola Castellón

絵画コンクール
受賞作品

ニカラグアの子どもたちが描いた絵をご紹介

「私たちのマナグア湖」

¿Qué significa el Lago Xolotlán para mí?

えんぴつが ぶもん 鉛筆画部門



金賞



ガブリエラ・ロペス
・モラレスさん
Gabriela Lopez Morales

銀賞



ダイアナラ・マルケス・ロペスさん
Dayanara Marquez Lopez

銅賞



ヘネシス・エスピノーサさん
Genesis Damaris Espinoza Cisneros

絵画コンクール
受賞作品

ニカラグアの子どもたちが描いた絵をご紹介します

「私たちのマナグア湖」

¿Qué significa el Lago Xolotlán para mí?

とくべつしょう 特別賞



マナグア湖のエコマスコットキャラクターを作っている日本人アーティスト **FLO** さんが
えらびました!



エイビン・カナレスさん
Eybin Jael Canales Bustamantes



公益財団法人 **滋賀県国際協会** の
皆さんがえらびました!



シャロン・ラルガエスパーダさん
Sharon Largaespada



選出者からのコメント

初めて家族と湖を訪れた日、特に印象的だった夕陽を描こうとした作者のひたむきな努力を感じさせる一枚です。



選出者からのコメント

カラフルで力強いタッチが特徴的な一枚です。中でも、大きく描かれた太陽は何度も重ねて塗られたようで、作者の強い思いを感じました。

公益財団法人 滋賀県国際協会とは?

公益財団法人 滋賀県国際協会 (SIA:シーあ) は、県民の国際理解を深め、国際協力思想の高揚を図るとともに、経済・技術・文化等幅広い分野の国際交流を積極的に推進し、国際化に対応した地域社会の振興に寄与することを目的に設立された団体です。



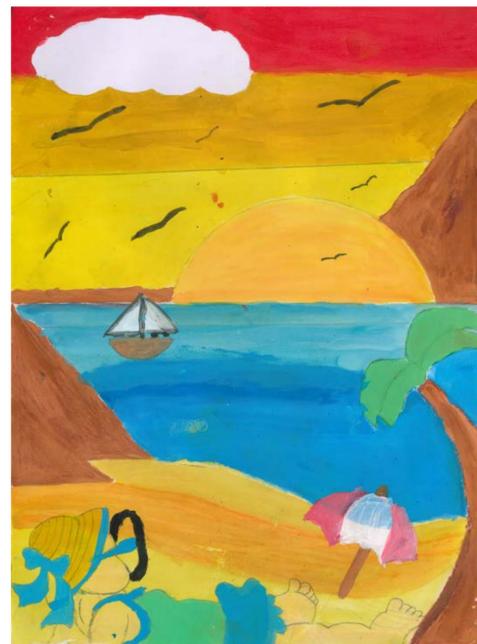
滋賀県立彦根東高等学校の
皆さんがえらびました!



ダニエラ・シスネロさん
Daniela Abigail Cisnero



キンベリー・ムングイアさん
Kimberli Nathasha Munguia Lopez



クリステル・モジャさん
Kristel Antonela Moya Baltodano



滋賀県立彦根東高等学校
Shiga Prefectural HIKONE HIGASHI High School

滋賀県立彦根東高等学校とは?

国宝の彦根城内に、明治9年(1876年)に第三大学区第十一番中学校区彦根学校として開校。旧制第一中学校などの変遷の後、現在の滋賀県立彦根東高等学校となり、令和8年(2026年)に創立150年を迎えます。

「挑戦」高い志を持ち、「発見」知的好奇心に富み、「実践」決断し勇気をもって行動することを大切にする学校です。

「私たちがえらびました!」

